



道路・鉄道	河川	海岸	港湾・空港・漁港	砂防・地すべり	農業水利	エネルギー
地震	津波	豪雨・台風	緊急工事	老朽化		

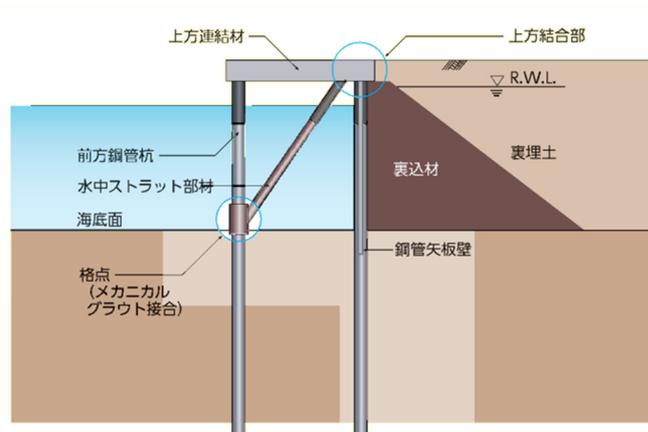
水中ストラット

水中ストラット工法とは、鋼管杭や鋼管矢板等により構成された根入れ式ラーメン構造を海中において「水中ストラット部材」で補強した工法で、護岸・岸壁・防波堤等に適用が可能です。

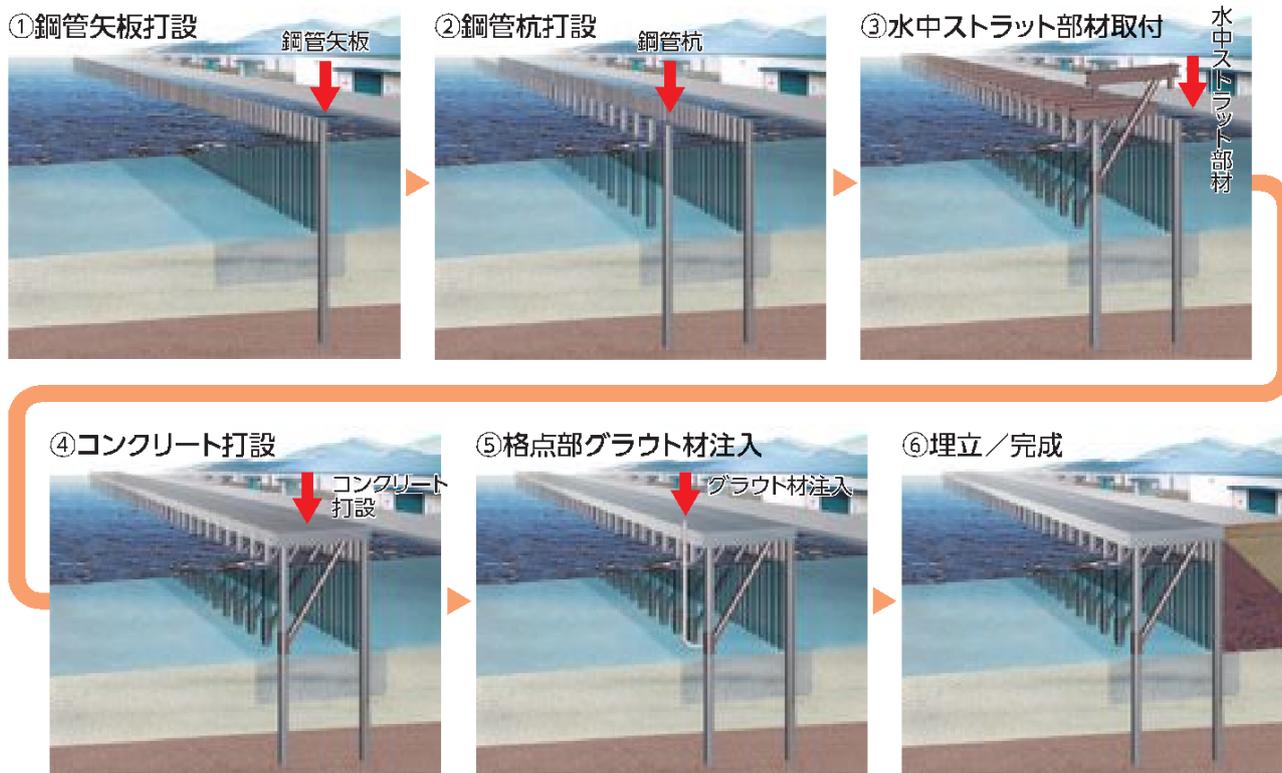
※水中ストラットは、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所との共同研究の成果に基づき開発された工法です。

【特長】

- 1 岸壁更新への**高い適用性**があります。
- 2 水平外力を斜材軸力に変換し、地盤の鉛直・水平支持力を有効に活用することで、**構造性能の向上**を達成しました。
- 3 **省スペース施工**が可能となります。
- 4 杭本数の減少や地盤改良範囲の縮小などにより、**急速施工**が可能となり、**経済性も向上**します。



【施工手順】

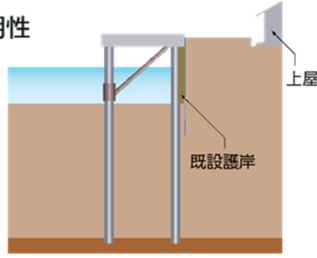


⑤→④の場合もあります。

■ 適用効果事例

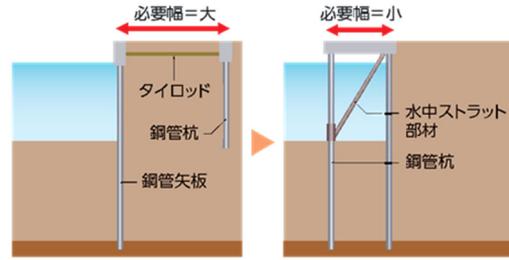
● 岸壁更新への高い適用性

背後施設はそのままで、岸壁の増深・補強が可能



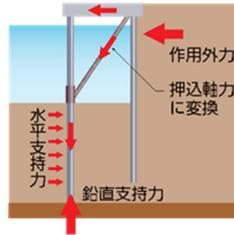
● 省スペース施工が可能

・ 控え工が不要になるため、構造占有幅が減少

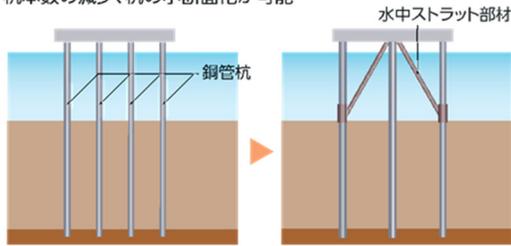


● 構造性能の向上

・ 斜材を配置し、水平外力を軸力へ変換
・ 地盤の鉛直・水平支持力を有効に活用した合理的な構造

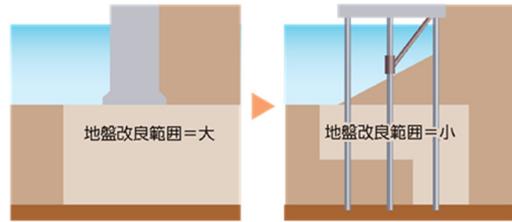


・ 耐震性が向上し、大水深構造への適用が可能
・ 杭本数の減少、杭の小断面化が可能



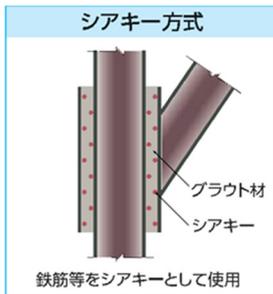
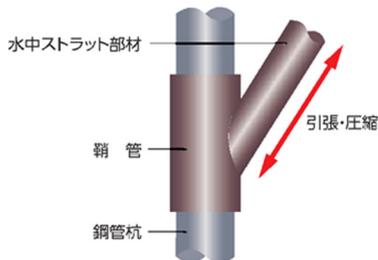
● 急速施工が可能

・ 杭本数の減少・小断面化による施工能率の向上
・ 工場製作部材の使用による施工の簡略化
・ 地盤改良の省略・範囲縮小が可能



■ 格点部の構造と固定方法

・ 鋼管杭と鞘管の二重管構造(メカニカルグラウト接合)
・ 鋼管杭と鞘管の間にグラウトを充填し一体化



格点部押抜き試験



<ご注意とお願い> 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。